

■植物園案内■

●植物園案内

植物研究室の学芸員が長居植物園を案内し、その季節の植物の説明と観察を手引きします。

※12月は、「木の実と鳥」をテーマに行います。

日 時：毎月第1土曜日 午後2時30分～4時
集 合：自然史博物館 玄関前ポーチ
参 加 費：無料(植物園入園料必要)
お問合せ：植物研究室
お申込み：不要

●植物園案内・動物編(10月) 「はじめての鳥の羽根ひろい」

長居公園に立ち寄った鳥たちが落とした羽根を探します。まずは身近な鳥の羽根を見て、その持ち主が分かるようになりましょう。

日 時：10月26日(土) 午前10時～12時 雨天中止
集 合：自然史博物館 玄関前ポーチ
参 加 費：無料(植物園入園料必要)
お問合せ：動物研究室 和田
お申込み：不要

●植物園案内・動物編(11月)「ダンゴムシ・ワラジムシ」

植物園内の落ち葉の下や、博物館のまわりにかくれているダンゴムシやワラジムシをつかまえて観察します。

日 時：11月30日(土) 午後2時～4時 雨天中止
集 合：自然史博物館 玄関前ポーチ
参 加 費：無料(植物園入園料必要)
持 ち 物：容器(フィルムケース、小ビンなど)、筆記用具、
持っている人はルーペ
お問合せ：動物研究室 和田
お申込み：不要

●植物園案内・昆虫編(12月)「冬越しの虫さがし」

虫は寒い冬の間をどう過ごしているのでしょうか？卵、幼虫、蛹、成虫…様々な段階で冬越ししている虫を探します。

日 時：12月21日(土) 午前10時～12時 雨天中止
集 合：自然史博物館 玄関前ポーチ
参 加 費：無料(植物園入園料必要)
お問合せ：昆虫研究室 松本
お申込み：不要

■ジオラボ■

化石や岩石、鉱物、地層等について簡単な実験や観察を行ないながら学ぶことができます。

●(11月)「なぞの生物デスモスチルスを見てみよう」

いまはいなくなってしまったなぞの生物デスモスチルスは一体何者なのか。デスモスチルス化石の発掘から展示まで紹介します。博物館にある展示を一緒に見ましょう。

日 時：11月9日(土) 午後2時30分～3時30分
場 所：自然史博物館 ミュージアムサービスセンター
参 加 費：無料(博物館入館料必要)
お問合せ：地史研究室 田中
お申込み：不要

●(12月)「海の砂を見てみよう」

海の砂とひとことでいっても、場所によって色・粒の大きさ・中身の種類などいろいろな違いがあります。日本各地の海の砂を顕微鏡でのぞいて、なぜ場所によって砂の種類が違うのかを考えてみましょう。

日 時：12月14日(土) 午後2時30分～3時30分
場 所：自然史博物館 ミュージアムサービスセンター
参 加 費：無料(博物館入館料必要)
お問合せ：第四紀研究室 中条
お申込み：不要

Teachers - Museum 通信 2019 No.2

2019/10/27

編集・発行：大阪市立自然史博物館

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23 tel 06-6697-6221 (博物館代表番号)
http://www.mus-nh.city.osaka.jp/ (学校向けページやキッズページも充実しています)
e-mail: tm@mus-nh.city.osaka.jp



※送付先の変更や、メールアドレスの変更などあれば、ご連絡ください。経費削減のため、なるべく通常の通信はEメールで連絡させていただきます。登録時に郵送を希望された方でメールアドレスを取得した場合は上記までご連絡ください。

■ 11月16日(土)・17日(日)に大阪自然史フェスティバル2019を開催します ※関西文化の日のため、入館料無料! ■

大阪自然史フェスティバルは、自然や生き物、環境に関する団体やサークルなど100団体以上が、日頃の研究や活動の成果を発表したり、ワークショップを実施したりする、自然科学の文化祭です。

今年は、水族館で実際にマンボウを観察し研究した記録を紹介する講演会や、よく見かけることはあっても詳しくは知らない人が多いコケの世界を紹介する講演会を行います。生き物を観察する視点を知ることは、子ども達の自由研究の取り組み方の例として参考になるかもしれません。

また、ブース展示では、専門家や出展団体のみなさんとも交流しながら、身近な自然や生き物のことを知ったり考えたりしてみませんか？

講習会や講演会などのプログラムは予約不要で当日受付です(定員があるものは先着順)。大阪自然史フェスティバルHPで詳細をご確認のうえ、是非ご参加下さい。



▲ブース展示や講演会の他にも、子ども達や初心者の方も参加しやすい野外観察会も行います

■開催概要■

1. 名 称：「大阪自然史フェスティバル2019」
2. 期 間：令和元年11月16日(土)、11月17日(日)
3. 会 場：大阪市立自然史博物館 本館および博物館玄関前ポーチ、ネイチャーホール(花と緑と自然の情報センター2階)
〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23(長居公園内)
TEL:06-6697-6221 FAX:06-6697-6225
地下鉄御堂筋線「長居」下車3号出口・東へ800m
JR阪和線「長居」下車東出口・東へ1000m
4. 入 場 料：無料 ※11月16日(土)・11月17日(日)ともに「関西文化の日」のため、博物館入館料も無料となります。
5. 開催時間：9時30分から16時30分(ただし両日とも入館は16時まで)
6. 開催内容：◆ブース展示(両日とも開催)
出展団体による活動紹介や標本などの展示、自然をテーマとした参加体験型の工作・ゲームコーナーなど。
◆ワークショップ・講習会(両日とも開催)
様々な自然観察・自然保護教育プログラムを実施します。受付は当日会場で行います。
そのほか、講演会などさまざまなプログラムが行われる予定です。
※詳しい内容はHP・チラシ等でご確認の上、ご参加下さい
7. ホームページ：<http://www.omnh.net/npo/fes/>

▽▲ 編集後記 ▲▽

11月16日(土)、17日(日)は関西文化の日です。関西一円の美術館、博物館や資料館が無料(参加施設のみ・原則常設展)になったり、様々なイベントが行われていたりします。色んな博物館施設を巡るチャンスなのですが、当博物館でも自然史フェスティバルがあるので、この時期になかなか休みを取れないのが悩みどころです。16・17日以外にも実施している施設もあるので、私も参加できそうな日を調べて、行ったことのない施設に行ってみたいと思っています。(大江)



■学芸員によるリレーコラム⑦■ 今号は第四紀研究室の中条 武司学芸員です。

～地域の自然を学ぶこと～

学校の先生にとって、自然史博物館といえば理科というイメージがあるかもしれません。実際、その展示の内容は生物と地学ですし、担当学芸員の専門分野も同様です。しかし、展示のほとんどは学校では習わない分野だったり、教科書の内容に必ずしも沿ったものではありません。

当館は大阪の博物館なので、当然ながら展示は大阪の自然が中心になります。大阪のこんな場所にこんな鳥や昆虫がいる、こんな植物が生えている、こんな岩石や地層が分布しているといった具合です。これは学校の教科でいうと、理科よりも地域学習を扱っているといった方がいいかもしれません。

理科ではなく、地域学習で自然を学ぶと、地域を見る目が変わってきます。私の専門の地質学から見てみましょう。例えば勤務校の場所が標高100mのところにあったとします。もし昨今ニュースを賑わしている南海トラフ地震が発生したとすると、ニュースや教科書通りに津波の心配をして避難…というのはナンセンスです。100mの津波が襲ってくることはないからです。それよりも学校の立地を考えて、盛り土が崩れそうな所はないかなどを考える方が大事になってきます。逆に海近くの標高2mの場所なら、必ず(来ないことがあるかもしれませんが)津波を考えないといけません。地震が起こった時に考えるべきことは地域によって異なり、その地域性は地質・地形的な自然と結びついています。同様のことは生物分野でもあるでしょう。

私たち学芸員は大阪の博物館として、大阪という地域を大切に、その自然を伝えていきたいと考えています。そしてそれは大阪だけでなく周りの地域、ひいては日本・世界の自然を知ることにもつながっていくでしょう。

■8月8日(木)に教員のための博物館の日2019を実施しました■

今年の参加者は120名で、大阪府教育センターの研修枠で幼保こども園の教員・保育士が27名参加、高等学校教員が14名参加など、幅広い校種からの参加がありました。毎年行っている行事ですので、何度も参加いただいているみなさんからは、毎年違うプログラムをと要望もいただきます。今年初めて実施したプログラムをご紹介します。「身近な鳥と池の生き物観察」は、学芸員と一緒に長居植物園内で観察するプログラムでした。教員のための博物館の日は、40分1コマを基本としていますが、2コマ分(1時間40分)という長めの実施にしました。暑い屋外ですが、木陰に入りながら、双眼鏡片手にいろんな鳥や生き物を観察しましたので、みなさんもあまり無理なく参加できたようです。「研究ってどうやってるの?」は、クジラ化石研究を体験できるプログラムでした。クジラの特徴を言葉で伝え、聞いた人が絵を描くというゲーム要素もたっぷり。元は一般向け行事として実施していたものを短くして教員のための博物館の日のためにアレンジしました。毎年全てのプログラムを新しくするわけではありませんが、以前行ったプログラムも、何か工夫を加え、改善し、実施しています。リピーターの皆さんにも、楽しんでいただけたでしょう。



▲「身近な鳥と池の生き物観察」の様子

■「第20回 こどものためのジオ・カーニバル」を開催します ■

私たちが暮らしている地球・宇宙のことをもっともっと知りたい人はジオ・カーニバルに集合! 様々な工作や実験を通じて、自然のふしぎにふれてみませんか。13のブースと4つのセミナーを予定しています。地層や化石、気象や天文の授業のネタ集めにいかがでしょうか?

日 時: 令和元年11月2日(土)～3日(日祝)

両日とも10:00～16:30(入場16:00まで)

会 場: 大阪市立科学館(お間違いのないようご注意ください)

対 象: どなたでも参加できます

参加費: 無料

お申込み: 不要、会場に直接おいでください

主 催: こどものためのジオ・カーニバル企画委員会

協 力: 大阪市立科学館、大阪市立自然史博物館

H P: <http://www.geoca.org/> Twitter アカウント: @carnivalgeo

お問合せ: 第四紀研究室 石井

※当日参加できなかったけれど、「ガイドブック」が欲しい、という先生は石井(y-ishii@mus-nh.city.osaka.jp)までご連絡下さい。



▲展示ブースで液状化実験を観察する子どもたち

■ジュニア自由研究・標本ギャラリー■

自然史博物館は、小・中学生、高校生のみなさんの自由研究や標本作りを応援しています。児童・生徒の皆さんが作った生き物や岩石・化石の標本、および生物・地学分野の自由研究を展示します。展示のひとつひとつには、関連分野の学芸員からのアドバイスもつきます。現在、展示する研究の成果物や標本も募集しています。児童・生徒のみなさまにもお知らせください。応募は11月23日(土・祝)までです。下記の要領でご応募ください。

- 対 象: 小学生・中学生・高校生による、生き物や岩石・化石の標本、および生物・地学分野の自由研究
- 提出形態: 実際につくった標本、模造紙や冊子にまとめた研究成果、またはつくったものを撮影した写真
- 提出方法: 作品に、住所、氏名、学年、連絡先(電話番号またはメールアドレス)、自由研究のタイトル、作品の返却方法(博物館に来て直接受け取る、または着払いで郵送)を明記の上、以下の方法でお持ち下さい。

(1) 自然史博物館に直接持ってくる

※月曜休館、月曜が休日の場合は翌日が休館日です

(2) 郵送 (送り先: 〒546-0034 大阪市東住吉区

長居公園1-23 大阪市立自然史博物館「ジュニア自由研究・標本ギャラリー」係宛)

●お問合せ: 大阪市立自然史博物館 昆虫研究室・長田 (TEL.06-6697-6221)

■開催概要■

会 期: 令和元年12月14日(土)～令和2年1月26日(日)

※毎週月曜日、12月28日～1月4日、及び1月14日は休館(ただし1月13日は開館)

開館時間: 9:30～16:30(最終入場は16:00まで)

会 場: 自然史博物館 本館

入 場 料: 無料(博物館入館料必要)

■ 行事案内 ■

自然史博物館では様々な行事を開催しています。申込みが不要な行事と必要な行事がありますので、行事情報をチェックしてご参加ください。博物館ホームページ「イベント」メニューからも申込みが簡単にできます。

◎ 申し込み方法

往復はがきか電子メールに、下記の内容を書いて博物館普及係あてに申し込んでください(※切日必着)。

博物館のホームページからも、お申し込みいただけます。

1. 参加希望の行事名

2. 参加者全員の住所・名前・年齢・電話番号

3. 返信連絡先(往復はがきには返信用のあて名)

※定員を超えた場合は抽選することがあります。

抽選結果、集合場所、集合時間、持ち物など、詳しい内容は返信ハガキか電子メールでお知らせします。

◎ 申し込み先

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23 大阪市立自然史博物館 普及係

ホームページ: <http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>

e-mail: gyouji@mus-nh.city.osaka.jp

■特別イベント■

●大阪府高等学校生徒生物研究発表会

大阪府内の高等学校の生徒の皆さんが、日頃取り組んでいる生物に関する研究や活動について発表します。毎年1回開催されているこの発表会は、今年で第71回を数える伝統のある行事です。一般の方にもご覧頂けます。

日 時: 11月23日(土・祝) 午前9時30分～午後4時

場 所: 自然史博物館 講堂

参 加 費: 無料(博物館入館料必要)

お問合せ: 動物研究室 石田

■自然史オープンセミナー■

学芸員や研究者が自然史科学を話題に講演します。

●大阪のクジラ化石 2019

この3年で明らかになった大阪のクジラ化石についてまとめます。世界に一つだけのカツオクジラ化石について。大阪層群から初めてのクジラ化石について。初めての方でもわかりやすくご紹介します。博物館が化石を研究し、教育普及、展示していく様子が見えてきます。

日 時: 12月21日(土) 午後1時～2時

場 所: 自然史博物館 集会室

参 加 費: 無料(博物館入館料必要)

お問合せ: 地史研究室 田中

お申込み: 不要